古代の香川県庁 讃岐国府にググッとせまる!

～「讃岐国府跡探索事業」のこれまでとこれから～

讃岐国庁跡碑

県埋蔵文化財センターでは、今の坂出市にあったとされている讃岐国府を明らかにするために、昨年から「讃岐国府跡探索事業」を進めています。活動の中心となる23名の「讃岐国府ミステリーハンター」（ボランティア調査員）は、毎月の研修会などで腕を磨き、地域のみなさんの協力のもとに、地名の聞き取りや水利用の調査などを行い、讃岐国府に繋がる情報の洗い出しに懸命になっています。

昨年12月に行った府中町本村地区での発掘調査では、平安時代の建物跡や中国製の磁器などの貴重な手がかりが見つかり、従来、奈良時代から平安時代前半頃までと思われていた讃岐国府の存在時期に見直しをせまり、讃岐国府の実態に肉迫する成果として注目されています。

発掘調査のようす

国府印鑰明神遺跡碑

現在は、最新情報をもとに選定した讃岐国府の中心施設があると考えられる場所で発掘調査を実施中です。この場所は、「インヤク」の地名が残り、「国印」と「鑰（かぎ）」の保管施設があったと考えられているところで、昨年以上の成果を求めて、寒風の中、ミステリーハンターは古代の謎と格闘中です。

古文書と格闘するミステリーハンター

府中小学校のみなさんの発掘体験

最近では、地域の皆さんが、普段の生活で讃岐国府を話題にすることがあるということで、地元の遺跡の話題によって、ふるさとへの愛情がますます高まるものと期待しています。

今後は、地域に留まらず、全県、全国のみなさんが讃岐国府の話題で交流することができるように、ミステリーハンターとともにますます活発に活動して、讃岐国府にググッとせまりたいと思います。

讃岐国府（さぬきこくふ）とは…

国府とは、奈良時代ころに全国の国ごとに置かれた役所のことで、現在の都道府県庁のような施設のことです。香川県は、おおむね当時の讃岐国にあたり、国府は讃岐国府と呼ばれています。讃岐国府は南海道（古代の官道）や瀬戸内海に近い現在の坂出市府中町あたりにつくられたとされ、国府では中央政府から派遣された役人が国司として政治を行っていました。国司とは現在の知事のような立場の人で、讃岐国の国司には学問の神様として有名な菅原道真も名を連ねています。

平安時代の終わりごろから各地の国府は縮小し、やがて廃絶したため、讃岐国府のあった場所も忘れ去られてしまい、現在でもはっきりとした場所が分かっていません。

詳しくは県埋蔵文化財センターHPをご覧ください。 http://www.pref.kagawa.lg.jp/maibun/